

留 学 報 告 書

記入日:2018年8月4日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	スペイン
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: バレンシア大学 現地言語: Universidad de Valencia
留学期間	2017年9月～2018年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	教育学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年7月20日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月上旬～12月下旬 2 学期:1月下旬～5月上旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	65,789
創立年	1499

留学費用項目	現地通貨 (€)	円	備考
授業料	0	0円	授業料免除型の協定校留学だったため。
宿舍費	3,400	442,000円	月340€(光熱費込み)のシェアアパート。
食費	560	72,800円	基本的に自炊。
図書費	25	3,250円	基本的に図書館を利用。授業で使う教科書・資料は、教科のページにアップされている PDF ファイルなどをダウンロードして使用したため、かかったのは印刷費のみ。
学用品費	15	1,950円	
教養娯楽費	1,895	246,350円	ほぼ旅行費(スペイン国内8カ所、国外4カ所)。
被服費	242	31,460円	
医療費	0	0円	
保険費	779.69	101,360円	形態:海外旅行傷害保険
渡航旅費	959.77	124,770円	8月初に取った8月下旬のチケット。もう少し早くとるか、9月のチケットにすれば安い。
雑費	50	6,500円	
その他	40	4,200円	通信費(SIMカード)。20€で28日間有効。
その他	109.29	14,207円	一時帰国費。
その他		円	
合計	8,105.75	1,048,847円	

渡航関連

渡航経路: 成田→イスタンブール→バレンシア

渡航費用

チケットの種類	エコノミークラス
往路	124,770
復路	
合計	124,770

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

(株)タイリクトラベルサービス

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

シェアアパート

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数 最大 8 人程度)

3) 住居を探した方法:

「バレンシア スペイン留学」というサイトの「バレンシアでスペイン人とのアパートシェアの探し方」を参照。「SPOTAHOME」が提供するシェアアパートに決めました。

(https://valencia-ryugaku.com/valencia/share_rent/piso_compartido_2.html)

4) 感想: (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

バレンシア大学には寮がありますが、文系学部のキャンパスから離れている上、やや家賃が高いです。バレンシアでは学生向けのシェアアパートが普及しているので、家賃、設備、立地、仲介する不動産会社の信用度などを考慮しながら、自分で探すことをお勧めします。家賃の相場は月 200~300€ほどです。私の住んだ Plaza del Ayuntamiento の近くは生活に便利な上、バレンシアの文化が肌で感じられ、とても良かったです。ただし、ビザ取得のために宿泊証明書(留学中の住所を証明する書類)が必要なので、入学許可証を受け取り次第、遅くとも 5 月頃には部屋を決め、不動産会社などに証明書を PDF などで発行してもらってください。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

カリキュラムや授業のことは、各学部のコーディネーター-coordenador に相談しました。学習相談も受け付けているようでした。授業教室が分からなくなった時や、落とし物をした時は、各学部の事務室 secretaria に聞きました。長期滞在に必要な在留届の発行は、キャンパスから少し離れた場所にある Internacional student office で最初の手続きをします。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

バレンシアはバルセロナ日本領事館の管轄なので、領事館のサイトから在留邦人登録をしました。バルセロナの独立運動のデモなど、現地の安全に関する情報をメールで受け取ることができました。

また、パンブローナに牛追い祭りを見に行った際、パスポートと財布の盗難に遭いました。パスポートと現金、デビットカードとバスの切符、闘牛のチケットが入った財布をポシェットに入れて持ち歩いていたのですが、人混みを抜ける際にポシェットを開けられて財布だけ抜かれていました。それまでスペイン国内外を旅行したことがありましたが、ずっと無事だったので、自分が被害に遭うとは思っておらず、ショックでしたし腹が立ちました。すぐに警察で盗難届を発行してもらい、親に連絡してデビットカードを止めてもらいました。また、警察署の方に電話番号を調べてもらい、大使館にパスポート再発行手続きと必要書類について聞きました。バスの切符は、母名義のクレジットカードの情報を使って、オンラインチケットを取り直しました。現金がなかったので、警察署で紙とペンを借りて「観光客です。財布を盗られました。助けてください」とスペイン語で書き、街の隅に立ってみたところ 20€ほど恵んでもらえました。闘牛のチケットは正規の窓口で買くと 25€以上かかったので、開演時間ギリギリに闘牛場付近にいたダフ屋から 21€のチケットを値切り、恵んでもらったお金で買いました。食べ物に関しては、前の日に買っておいいたジュースと、たまたま持っていた氷砂糖で残りの旅程を過ごしました。パンブローナからバレンシアに帰る際、乗り継ぎのためにバルセロナで地下鉄に乗る必要があったのですが、事情を話して盗難届を見せたところ、無料で乗せてもらうことができ、何とか帰ることができました。

バレンシアに戻った後、バルセロナの領事館でパスポートを再発行しました。戸籍謄本が必要だったのですが、母に取得して EMS で領事館に郵送してもらうと同時に、謄本と、発送を証明する書類を FAX で領事館に送ってもらうことで、手続きができました。また、パスポート用の写真を自宅近くの写真屋で撮ったのですが、日本の写真の規格はスペインのものと異なると知らず、スペインの規格に合わせていたので、領事館近くの写真屋で撮り直すことになってしまい

ました。大使館のサイトで規格を確認するか、領事館近くの写真屋で「日本のパスポート用」と伝えてから撮ってください。保険会社に連絡したところ、盗難にあった財布、パンブローナからの帰りのバスの切符代、パスポートの再発行に必要な代金として、発行費とバルセロナへの交通費、宿代を補償して貰えました。いずれも領収書の提出が必要で、現金とデビットカードは補償の対象外でした。私の場合、携帯電話が無事だったので親に連絡できたことと、身分証明になる在留カードを宿に置いていたこと、バレンシアのアパートにクレジットカードを残していたことが幸いでした。盗難に遭って以来、パスポートを持ち歩くときは財布と分けること、現金は分散させて持つこと、もしもの時のためにお菓子を携帯して歩くことを心掛けています。また、現金はなるべく持たないこと、切符やチケットはオンラインで注文し、スクリーンショットなどで携帯電話に保存していくのが望ましいです。鞆はチャックが付いているものか、チャックが無いのなら上着やストールで中身を隠しながら持ち、人混みではチャックに手をかけておくか、しっかり体の前に抱えると良いです。

4)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

電話会社に問い合わせた携帯電話の SIM カードを解除し、現地の SIM カードを入れると、日本と変わらずインターネット通信ができます。価格は通信会社やギガ数によって変わりますが、安いものだと 10€で 28 日間有効。大学やアパート、飲食店などには wi-fi があります。旅行先では、wi-fi のある宿を選び、駅やインフォメーションセンターの wi-fi を利用しました。特に、ALSA がバスターミナルで提供する wi-fi は繋がりがよかったです。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか？(例:現地に銀行口座を開いて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

VISA のデビットカードとクレジットカードを持って行きました。JCB は使えないことがあるので、VISA か MASTER カードが便利です。カード払いができる店ではカードで払い、現金は月に一度 ATM からまとめて引き出して少しずつ使っていました。デビットカードを使うと現地通貨を「引き出す」ことになるので ATM の手数料しかかかりませんが、クレジットカードの場合はキャッシングをうける、つまり、「借りる」ことになるので、手数料の他に利子が付きます。現金が必要な場合は、手数料の安い ATM を探し、デビットカードで引き出すことをお勧めします。私は普段デビットカードを持ち歩き、クレジットカードは保険としてアパートに置いていました。カードを使うと日本の口座から引き落とされるので、現地で口座は開設しないかわりに、親に口座番号を覚えておき、時々振り込んでもらいました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

みりん、酒→買おうと思えば、北駅 Estacion del Nord 周辺の中系スーパーマーケットで買えないこともないです。米が量れる計量カップ、菜箸→自炊するなら、あると便利。

電子辞書→スペイン語の辞書のソフトを入れていました。語学だけでなく、日本や世界の歴史や文化についても調べられます。情報量が限られていますし、文章の翻訳などはできませんが、wi-fi の有無に関係なく使うことができ、インターネットよりも簡潔で正確な情報が得られるので私は重宝していました。電子辞書はスペインには無いらしく、みんな珍しがって何であるのか尋ねてきたので、会話のきっかけにもなりました。

お気に入りの漫画→オタクの必需品。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った, 渡航前に留学先大学から指示があった, 渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

二年生の秋から三年生の夏にかけて留学しました。教職課程を履修しており、四年生で教育実習に行く予定でしたが、そのために本来ならば三年生の春に説明会と、実習校に申し込みを行わなければなりません。資格課程事務室に事前に相談しておき、実習希望校(母校の高校)とも連絡を取って、特別措置として申し込みを前倒しで行ってから出国。留学後、大学で説明会の内容を聞いて実習校への提出書類を受け取りました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
36 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Teoria del Educacion	教育理論
科目設置学部・研究科	Pedagogia
履修期間	2017/09/02~2017/12/22
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に285分が16回
担当教授	JOSE TOMAS VENDRELL CHIRIVELLA
授業内容	教育の基礎理論を講義形式で学びました。第一講教育の定義、第二講生涯学習、第四講教育の主体と手段、第五講教育について「知る」こと、第六講教育のプロセス、第七講批判的教育学、第八講教育の技術、第九講学習理論、第十講内容と補助。
試験・課題など	本の要約、一講ごとの要約。試験は60分の記述式。
感想を自由記入	大人数の講義形式でした。教室が少し騒がしく、教授の話が聞きづらいこともしばしばでした。授業にはスライドが用いられ、大学のサイトの授業のページからダウンロードもできたので、授業前に分からない単語を調べたり、授業後に見直すことができました。また、長いときは夜10時近くまで授業だったので、夕飯が遅くなったり、食べ損ねたりしました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Educacion Comparada		比較教育	
科目設置学部・研究科	Pedagogia		
履修期間	2018/02/26~2018/05/18		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式、グループ学習(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に285分が12回		
担当教授	ANA ANCHETA ARRABAL		
授業内容	4, 5人のグループに分かれ、各グループがアメリカ合衆国かフィンランド、日本の教育に関する指標を調べ、OECD や EU 諸国の平均と比較分析を行いました。講義では、指標の選び方や調べる際に参考にするサイトとその使い方などを教わりました。		
試験・課題など	指標を使って各国の教育制度を比較分析し、レポートを提出、授業の感想。試験は○×形式で60分50問。		
感想を自由記入	課題のために指標を探したり、分析を書くのにやや時間が掛かりました。OECDやEUの平均は見つけられず、各国のデータを合計して割り出しました。計画的に行えば、余裕をもってこなすことができます。データの比較分析の良い練習になると思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Educacion internacional		国際教育	
科目設置学部・研究科	Pedagogia		
履修期間	2018/01/29~2018/05/18		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式、グループ学習(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に240分が16回		
担当教授	MARIA JESUS MARTINEZ USARRALDE		
授業内容	月曜日はグループ学習、水曜日は講義でした。グループ学習では、各グループが先生が提示する国の中から一つを選び、その国の教育に関する問題を調べました。講義では、国際教育の定義やあゆみ、教育制度に問題のある国々の状況、教育に関する国際機関などが扱われていました。		
試験・課題など	課題はグループでレポートを提出。テーマは国際教育の定義や担当国の教育システムの問題点など。授業の内容に関する小テストもありました。試験の代わりに調べた内容を劇形式で発表しました。		
感想を自由記入	先生がとても親切な方で、留学生に気を使ってくれ、質問にも快く答えてくれました。スライドを使って解説してくれたので、授業の前後に見直すことができました。発表は演劇形式というのも、変わっていて面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Pedagogia Social		社会教育学	
科目設置学部・研究科	Pedagogia		
履修期間	2017/09/11~2017/12/22		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に240分が15回		
担当教授	IRENE VERDE PELEATO		
授業内容	講義形式で社会教育について学びました。。		
試験・課題など	課題図書を読み、作者に宛てた手紙という形式の感想提出。グループで授業の内容をまとめたレポート提出。小学生(中学生?)向けの授業を想定し、グループで発表。筆記テストもありました。		
感想を自由記入	講義にはスライドが用いられており、見直すことができました。授業中に先生が絵本を読み聞かせたり、与えられたお題から得られるイメージを各々がクレヨンで絵に描いたり形式にとらわれない面白い授業でした。先生は留学生にとっても気を遣っていて、私は読書課題を免除され、筆記テストの代わりに授業の反省・感想を書きました。また、最後の授業で留学生はみんなの前で挨拶する場を作ってもらったので、私は「隅田川」を歌いました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Historia de los Origenes de Europa		ヨーロッパの起源の歴史	
科目設置学部・研究科	Historia		
履修期間	2017/09/11~2017/12/22		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が15回		
担当教授	JOSE LUIS PENˆA SANCHEZ LUIS ALMENAR FERNANDEZ NURIA VERDET MARTINEZ MARIA DEL CARMEN SANTAPAU PASTOR		
授業内容	ヨーロッパの歴史を講義形式で学びました。内容は大きく、中世、先史、ギリシャ・ローマ、近代に四分され、それぞれを別の教授が担当。教授によって、スライドを用いなかったり、校外学習を取り入れたりと授業形式に差がありました。		
試験・課題など	中世の授業は記述式 60 分の筆記試験、先史では授業中に見たビデオと校外学習で訪れた先史博物館の展示物に関するレポート提出、ギリシャ・ローマでは授業内容をまとめて提出、近代は記述式 60 分の筆記試験。		
感想を自由記入	四人の教授はそれぞれ授業や課題・試験のスタイルが異なるので、内容は勿論、口頭で伝えられる指示や注意事項を理解するのが大変でしたが、助けてくれる友達と出会うことができました。一時帰国した際、高校の時に使っていた世界史の教科書と資料集をスペインに持ち帰って見直したところ、授業への理解が深まりました。一方、日本の授業ではあまり触れていない内容をこの授業では掘り下げていたりして、日本におけるヨーロッパ史と、ヨーロッパにおけるヨーロッパ史の着眼点の差も見えて面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Análisis y interpretación de la imagen		図像の分析と解釈	
科目設置学部・研究科	Historia del Arte		
履修期間	2018/01/29~2018/05/18		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が16回		
担当教授	SERGI DOMENECH GARCIA		
授業内容	図像学の基礎を講義形式で学びました。月曜と水曜日に授業があり、前半の月曜日はパノフスキーら図像学の先駆者とその理論、水曜日には FRANCISCO de BORJA のイメージを例にとり、実際の分析方法を学びました。後半は両曜日とも同じテーマに与えられる表現の伝統と変遷などを学習しました。		
試験・課題など	授業内容の小テスト。資料を読み、その内容に関する小テスト。記述式 60 分の筆記試験。		
感想を自由記入	一番興味があり、頑張った授業です。資料にはしっかり目を通し、分からないことがあった時は教授の部屋に行って質問しました。教授はとても親切な方で、私が理解するまで辛抱強く解説してくれました。また、日本に興味があるとのこと、いつも見ている日本を紹介している動画や近隣の日本食レストランを教えてくださいました。私は授業のこと以外にも、街で見た聖人像のことや、旅行で訪ねる街で見るべき美術作品なども聞きました。この授業では努力した自覚があるので、良い成績が取れたときは本当に嬉しかったです。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	スペイン語 I A(学部間共通外国語)履修
8月～9月	スペイン語 I B(学部間共通外国語)履修
10月～12月	11 月明治大学に協定留学の出願 12 月面接 内定をもらう
2017年 1月～3月	3 月下見がてら、スペイン旅行 スペイン語能力検定 DELE 申し込み
4月～7月	実践スペイン語(法学部)履修 4 月 DELE の A2 受験 5 月バレンシア大学に出願 6 月～7 月長期滞在ビザ取得準備・申請
8月～9月	8 月末スペインへ
10月～12月	10 月ビザ取得のため、一時帰国 明治大学のゼミナール入室試験 11 月スペインにて在留手続き 12 月末冬期休暇
2018年 1月～3月	1 月期末試験
4月～7月	5 月末～6 月期末試験 6 月試験終わり次第、夏季休暇 7 月帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>私の留学の一番の目的は、「多文化共生社会」の実現への道を探ることです。日本で暮らす人々のほとんどは日本人です。しかし、交通・通信の発達により、国境を越えた人やモノの移動はありふれた出来事となっています。そうしたグローバル化の波は止められないでしょうし、日本も例外ではいられないと思います。事実、日本に暮らす外国人は年々増えています。私は今まで、外国人の友人たちに、日本での生活について話を聞いたことがありました。そこで、今度は私が外国へ行き、「外国人」として生活することを通じ、多文化共生を考えてみたいと思いました。滞在する国の社会と日本社会を比較することで、日本社会を客観的に捉えていきたいと思いました。日本にいる以上、私は常にマジョリティーの立場にあります。「外国人」を身を持って体験することで、新しい発見があるのではと期待しました。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>バレンシア大学への出願に語学能力の証明書は必要ありませんが、スペイン語検定 DELE の B2 レベルの取得が推奨されています。これからスペイン留学を目指す皆さんには、ぜひこのレベルのスペイン語を身につけてから行って下さい。私は A2 レベルを受験してから渡西しましたが、言語の壁に大分苦労しました。スペイン人は英語が話せない人が多く、留学してすぐに始まる大学の事務手続きから授業、日常会話までほぼ全てのやり取りをスペイン語で行います。特にバレンシアでは、かなり速いスピードで訛ったスペイン語で話されることも多々あります。語学に関して、準備し過ぎるということはありません。</p> <p>留学中は日本文化についてはもちろん、日本語について質問されることが多かったです。私は漢字、ひらがな、カタカナのルーツや特徴、スペイン語と日本語の発音の共通点などをよく説明していました。折り紙は鶴、兜、手裏剣、メダルなどを覚えておきました。また、作り方は渡西してから覚えたのですが、どら焼きをよく作りました。材料はスペインで手に入りますし、ドラえもんはバレンシア人の間で有名なので、どら焼きに興味を持つ人が多く、プレゼントすると喜ばれます。スマホなどを常にインターネットにアクセスできる状態にしないのなら、スペイン語の辞書を入れた電子辞書を持ち歩くことをお勧めします。分からないスペイン語の単語をすぐに調べられるだけでなく、日本や世界の歴史や文化について解説した事典が内蔵されているので、突然の質問にも対応できます。また、中国との違いや政治や人権問題を含む中国の情勢の質問もよく受けたので、余裕があれば日本だけでなく近隣諸国の事も調べておくとよいと思います。</p> <p>また、この報告書を書くために、あらかじめ質問事項を確認して、留学中にメモを残しておくべきでした。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>理由は主に二つあります。一つ目は、私はスペイン語が大好きだからです。発音が日本語に似ており、表記もローマ字とほぼ同じで親しみやすいです。イタリア語、ポルトガル語などと共通点が見られるのも、興味深いです。また、母語として世界で二番目に多く話されており、スペインや中南米のみならず、アメリカ合衆国でも話者が増えているので、将来性のある言語といえます。私は高校からスペイン語を始め、大学でも学んでいますが、日常的にスペイン語が話されている環境で能力を磨きたいと考えていました。</p> <p>二つ目は、スペインの歴史や文化に惹かれたからです。スペインはカトリックの一大勢力を抱えながら、イスラームの支配を受けたという歴史を有し、ローマ文化、キリスト教文化、イスラーム文化など様々な文化が融合して形成されています。</p> <p>また、私は高校二年生の冬、マドリッドにあるパートナー校との交流プログラムに参加しました。プログラムは二週間で、マドリッド郊外のお宅にホームステイ、トレドやサラマンカ、アビラ、セゴビアを訪問、生活習慣や食文化にも触れました。一方、二週間では旅行のようなもので、物足りないと感じていました。また、自分の興味に従って自由に行動したり、パートナー校以外の人との交流はあまりできませんでした。パートナー校の人とも、スペイン語が拙かったこともあり、難しい会話はできませんでした。何より、スペイン語の分かる引率の先生や友達を頼ることができました。帰国してからは、大学に入ったら、一人でスペインに長期留学し、「スペインに住む」ことを体験したいとずっと考えていました。</p> <p>明治大学のスペイン協定校には、バレンシア大学とサラマンカ大学があります。日本の大学生の留学先としては、サラマンカ大学の方が知名度も人気も高いです。しかし、サラマンカは一度訪れたことがあった上、日本人学生のコミュニティが形成されており、それに頼ってしまうと成長の機会を逃してしまうのではという懸念がありました。また、バレンシアは、天気の良い日が続く、冬も暖かく過ごしやすい地中海性気候域にあり、海が近いのも魅力的でした。三月にはスペイン三大祭りの一つ Las Fallas が開催され、大変賑わいます。なるべく自分が知らない新しい場所で、日本人に頼らずスペイン語で生活したいと考えてバレンシアを選びました。</p>

<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>バレンシア大学には留学生が多いですが、ほとんどはフランス、ドイツ、イタリアなどのヨーロッパや中南米出身者です。アジア人は少なく、私は教育学部で初の、唯一の日本人でした。教育学部はクラスメイトは女子が多く、皆親切でした。学生のみならず教授や職員にも英語がほとんど話せない人がかなりいるので、日常会話から事務的なやり取りまでスペイン語で行います。</p> <p>バレンシア大学は歴史ある大学ですが、建物は近代的です。フリースペースには机が置いてあり、空き時間に勉強するのに活用できます。図書館は蔵書が充実して広く、通常は月曜から土曜日、テスト期間は毎日 24 時間開館しています。図書館で徹夜するのは日本ではなかなかできない体験ですし、眠かったですが面白かったです。お昼は家に帰る学生も多いですが、中庭や食堂で食べる人もいます。食堂では 6€ほどでパエリアやパスタなどの 1st プレート、肉や魚料理の 2nd プレート、デザートとドリンクが付いた日替わりランチが食べられます。近くのスーパー Mercadona でサラダなどを買う学生もよく見かけました。授業は経済学部など一部の学部では英語の授業もありましたが、基本的にはスペイン語かバレンシア語です。講義形式がほとんどでしたが、グループ学習の機会も多かったです。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>個室を八部屋、共用のバスルームを二部屋、キッチン一つ備えたシェアアパートの三階に住んでいました。キッチンには共用の調理器具や調味料、食器が置いてありました。また、個室にはベッド、掛布団、棚やクローゼットが備え付けてあります。Plaza de la reina と Plaza del Ayuntamiento の二つの主要な広場の間に位置し、文系学部のキャンパスまで徒歩十分ほど。大学の図書館や市立図書館が近いので、よく勉強に通いました。地下鉄の Colon 駅まで徒歩十分、バス停も数多くありました。大型のスーパー、旬の食材が安く手に入る中央市場、ブティックが集まる通り、日本への荷物が送れる郵便局、携帯会社、不動産会社など生活に必要な施設が徒歩圏内にあり、とても便利でした。また、広場では Las Fallas をはじめとして、多くのイベントが開催され、それらを見物するのも都合が良かったです。住人は留学生や若い社会人など。入れ替わりが多く、色々な人と知り合えました。非スペイン語圏の出身者がほとんどで、会話は基本的に英語でした。皆で飲みに行ったり、自国の料理を持ち寄ってミニパーティーを開いたこともあります。</p>
<p>交友関係</p>	<p>九月に留学生の歓迎パーティーがありました。私は浴衣を着て参加したところ、日本人であるという上手いアピールになり、日本からの留学生や日本に興味のあるスペイン人たちと知り合うことができました。留学前は日本人と絶対に関わらないようにしようと思っていましたが、実際に留学してみると言語や文化の壁にぶつかって落ち込んだときや、在留手続きなどで困ったことがあった時、愚痴ったり相談できる同郷の友達はとても心強いと感じました。確かに、いつも日本人と一緒に行動しているようでは留学する意味がなくなってしましますが、気軽に連絡したり会うことができる日本人の友達を何人か作っておくと良いと思います。最初に仲良くなったのはイタリア人たちでした。オリエンテーションの時に向こうから声をかけてくれました。私がスペインで知り合ったイタリア人たちは皆フレンドリーでとても親切で、ビーチに行ったり、お互いの家に遊びに行ったりしました。留学が始まってしばらくは、留学生同士のコミュニティが成立しやすいです。</p> <p>教育学部のクラスでは最初、留学生のサポート系の学生と友達になりました。また、英語に自信がある学生たちが向こうから声をかけてくれたりしました。とはいえ、英語が話せないクラスメイトも多いので、自分からスペイン語が話せるということをアピールしていくことが大事だったと思います。グループ学習が多かったのも、自然と仲良くなっていきました。また、私は本当にラッキーなことに、歴史のクラスで日本語を勉強しているスペイン人と出会い、授業や課題のことで助けてもらった他、スペインの文化や慣用語などを教えてもらったり、一緒に博物館やビーチに行ったりしました。逆に私は簡単な日本語や折り紙を教えたり、お節料理やどら焼きを作って振舞いました。ただ助けてもらうだけでなく、教えあうことができたのが本当に良かったです。</p>

<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>一番苦労したのはやはり言語です。まず、講義の内容や課題などの説明がさっぱり分かりませんでした。教授やクラスメイトに尋ねると答えてくれるのですが、その内容も何と言っているのか理解できない、という事が続きました。バレンシア人が話すスペイン語のアクセントとスピード感到に慣れず、何度も聞き返さなくてはなりませんでしたが、どうしても分からないときは、紙に書いて貰いました。(書いてもらった文字が読めず困ったこともありましたが。)そうしたやりとりを繰り返すうちに、少しずつ分かるようになってきました。</p> <p>課題の数はさほど多くはなかったのですが、課題の内容を理解し、資料を探して必要箇所を読み、文章を書くという作業をなれない言語で行うのは手間と時間が、普段から親しんでいる日本語や英語で行う場合の何倍もかかりました。締め切りや他の用事との兼ね合いも考慮しながら、計画的にこなすことがより重要でした。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>私は教育学部に所属していましたが、歴史学部の授業も履修しました。教育学部では、グループ学習が多かったです。学生同士で話すフランクでテンポの速いスペイン語の会話についていけず、何を話していたのか聞きなおすこともしばしばでした。反対に、スペイン語の資料が見つかりにくい、日本の教育制度などについて調べる際は私が日本語の資料をスペイン語に翻訳するなどしました。また、歴史の授業では、しばしば日本から持ってきていた歴史の資料集が役に立ちました。授業を耳で聞いて理解し、ノートを取るのとはとても難しかったので、クラスメイトにノートを見せてもらったり、授業を録音させてもらったりと工夫して対応しました。また、授業の内容をよく理解するために資料を読んだり、教授やクラスメイトに沢山質問しました。教授はそれぞれ授業外に学生の質問に対応する時間 Tutoria を設けているので、よく活用しました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>スペイン語が拙いので、先生が口頭で伝えた課題を聞き逃しがちでした。いつもクラスメイトや先生にいつまでに何をやるのかを詳しく聞きなおすことから始めました。課題はグループで行うことも多く、「WhatsApp」や「Google drive」を活用してやりとりをしました。課題はレポートや資料の要約が多かったです。最初の半年は、休み時間や休日にも勉強に充てていました。それでも、期末に課題の締め切りとテスト勉強が重なるので、睡眠時間をかなり削ってこなさなくてはなりませんでしたが、語学力のハンディがあるので、テストの時は事前に辞書を持ち込む許可を得たり、試験時間を多めにとってもらったなどしました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>スペイン語の上達のために、大学と提携した語学学校 Centro de'l idiomaに通いました。一セメスター65€で、二時間の授業を週二回受けることができます。生徒はバレンシア大学の留学生が多かったです。レベルによるクラス分けがあり、同じくらいのスペイン語が分かる人と仲良くなれるので、お互いにより練習になります。授業では語学の他にスペインの文化・慣習も学べますし、クラスメイトから出身国の話も聞けるのでとてもためになりました。</p>

留学を志す人へ

まず、留学の目的・目標をとりあえずでもいいので明確化し、内容・期間・費用などを考慮して留学制度を選んでください。特に、国際日本学部生が英語の留学を希望する場合、大学全体と学部を合わせて数多くのプログラムがあります。個人的には、その国の生活をじっくり味わい、長所と短所を見極めるには最低半年は滞在したほうが良いと思います。私は『スペインで「外国人」を体験する』ことを目的に、『スペイン語を B2 レベルまで上達させる』を目標に留学しました。現地では、日本とスペインの生活・文化の違いや、外国人であるが故の便利・不便を常に意識して探すことと、英語が通じそうな場面でもなるべくスペイン語を話すことを心掛けました。

言うまでもなく、語学力は身につけておくに越したことはないです。大学の授業と語学の勉強はまったく別物であり、大学の授業のみによる語学のスキルの向上は期待しない方がいいです。語学力が足りないまま留学してしまうと、授業のための勉強と語学の勉強を両方こなしていくことになります。何より、留学の最初から皆が何を話しているのかある程度分かる方が絶対に楽しいです。非英語圏の場合、語学能力検定の実施回数は少なかったり、高額だったりするので、早めに調べて準備しておきましょう。資料を読んだり、レポートを書いたりする機会が多いので、大学の語学の授業だけではカバーしきれない、読み書きの練習は必須です。また、英語も話すことができれば、留学生同士の会話や旅行に行ったときに役に立ちます。明治大学でしっかり勉強して良い成績を取っておくことも大切です。語学の授業はダイレクトに役立ちますし、協定校留学への出願や奨学金の申請の際、成績も選考基準に含まれています。留学先の大学で履修予定の授業に関する知識も身につけておくといいと思います。予備知識があるのとないのとでは、授業への理解度が全く異なります。

そして、奨学金を積極的に活用してください。私は日本学生支援機構の留学向け給付型奨学金に申請して月八万円を受給し、家賃と生活費を賄うことができました。現地では留学報告書に加え、奨学金用の在籍証明書の提出を忘れずに。自炊するなど節約も心掛けましょう。パレンシアでは野菜類は中央市場が、その他はスーパー Mercadona が安いです。

私が留学先で一番大切にしていたことは、「今、ここでしかできないことをする」ということです。友達の誘いには必ず乗りましたし、人通りが多かったり外で花火や音楽が聞こえてきた日は、市庁舎広場 Plaza del Ayuntamiento まで様子を見に行っていました。また、「トマト祭り Tomatina とスペイン三大祭りを全部見る」という目標を掲げ、毎年 8 月第三水曜日に開催される Tomatina に合わせて渡航しました。祭りの期間は切符や宿がとりにくいので、早め早めに計画を立て、オンライン予約を活用するといいです。留学中にスペイン国内だけでも、1 月に東方三博士 tres reyes magos のパレードを見にマドリッド、2 月にパートナー校交流に来た母校の後輩たちに会いにサラマンカ、4 月に春祭り Feria を見にセビリア、6 月にマラガ、ミナス、英領ジブラルタルをはじめ旅行、7 月に牛追い祭り Fiesta de San Fermin を見にバンブローナとサン・セバスチャンを旅行しました。現地の観光名所を調べ、Google map とオフラインでも使える地図アプリ Maps me にマッピングしておくとう便利です。ただし、美術館や教会など開館日時・時間に気を付けて下さい。スペインにはシエスタの文化があるので、特に地方では長い昼休みをとっていることも多いです。割引が効くことが多いので、学生証も忘れないでください。移動には夜行バスを好んで使いました。時間が節約できますし、宿代が浮くからです。宿泊場所は Booking.com や Aire Bnb で、場所やシーズンによりますが、50€以下で探しました。ユースホステルは安くて、チェックイン前後にも荷物を預かってくれるので便利です。旅行は新しいもの、珍しいものを見るだけでなく、授業や日常生活で磨いたスペイン語を活用するいいにも機会になります。また、特にヨーロッパに留学する人は、ぜひ近隣諸国にも足を延ばしてください。

私がスペイン留学の間に、ここには書ききれないほどの、本の一冊でも出せそうなくらい多くのことを体験し、多くのことを学び、身につけました。その中でも一番重要なのは、「何とかする」力です。どんなに準備しても計画が上手く運ばないことはありますし、どんなに警戒してもトラブルに見舞われることはあります。そんな時に、目的を明確化し、優先順位をつけ、柔軟に進路変更を行う。自分の知恵と知識、持ち物を駆使しつつ、頼れる人を探して助力を乞う。この力が、私が留学の中で得た最大の財産です。そしてもう一つ、「外国でも生きていける」という自信です。スペインで一年間独りで生活したという事実は、自分の生きていく場所を日本に限定しなくてもいいのだと私自身にはつきり教えてくれました。日本に帰ってきたばかりですが、明治大学を卒業したらどこへ行こうかと今からワクワクしています。

これから留学に行く皆さん、留学は、例えば就職活動の役に立つといったちんけな損得勘定を超えて、自分の世界を広げるために、自分のために行ってください。私は留学の動機を上の方にグダグダと書きましたが、正直に言うと、「スペインが好き。スペイン語が好き。スペインで暮らしたい」たったこれだけです。留学先では、楽しいこと、辛いこと、色々なことをたくさん経験してください。自分の好きなことと興味のあることを全力で追いかけて、転がってきた機会には取り敢えず乗ってみてください。そして、留学に行ったその先の人生がますます楽しみなものになる、そんな留学になることを祈っています。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	Educacion internacional	Educacion comparada	Educacion comparada	買い物(中央市場)	自習:授業の復習・課題(市立図書館)		
	"	"	Educacion internacional	買い物(自宅周辺)	"	自習:授業の復習・課題(大学図書館)	自由時間:散歩、料理
午後	昼食(学食)	昼食(学食)	昼食(学食)	昼食(自宅)	昼食(自宅)	昼食(自宅)	昼食(近所のパン屋)
	Analisis y interpretacion de la imagen	スペイン語(語学学校)	Analisis y interpretacion de la imagen	スペイン語(語学学校)	自習:授業の復習・課題(市立図書館)	自由時間:必需品ではない買い物、散歩など	自習:授業の復習・課題(近所のパン屋)
夕刻	"	"	"	"	"	"	"
夜	夕食(自宅)	夕食(自宅)	夕食(自宅)	夕食(自宅)	夕食(自宅)	夕食(自宅)	夕食(自宅)

